

## (別表) 授業科目の種類及び履修方法

## 学部共通基盤専門科目 (昼間主コース)

## 専門基盤力科目

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講 年次	学 期	授 業 内 容
学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
学共101	観光地域デザイン入門	観光	2	(2-0)	1	前	観光学の基礎概念や基礎理論等について学ぶ。
学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
学共103	簿記入門	経営	4	(4-0)	1	前	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
学共104	社会科学のためのゲーム論入門	経済	2	(2-0)	1	前	ゲーム理論の基礎的内容についての講義する。
学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
学共106	言語科学入門	国言	2	(2-0)	1	前	言語に対する様々な研究方法を学び、言語を科学的に分析することの基礎を学ぶ。
学共107	地理総合	地域	2	(2-0)	1	前	地理学に関する基礎知識を概観する。
学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
学共111	観光とサステナビリティ	観光	2	(2-0)	1	後	持続可能な観光を成立させるための要件について多面的な持続可能性の観点から学ぶ。
学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
学共113	英米文学概論	国言	2	(2-0)	1	後	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
学共114	ヨーロッパ文化論	国言	2	(2-0)	1	後	古代文明から始まり、キリスト教の発展、産業革命を経て現代に至るまで、ヨーロッパ文化の形成と展開の諸相に迫る。
学共115	歴史総合	地域	2	(2-0)	1	後	歴史学に関する基礎知識を概観する。
学共116	人類文化入門	地域	2	(2-0)	1	後	人類文化に関する基礎知識を概観する。
学共121	テーマ型ツーリズム入門	観光	2	(2-0)	2	前	テーマ性が強く、地域の特性を活かした体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行について学ぶ
学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	2	前	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
学共123	英米文化入門	国言	2	(2-0)	2	前	イギリス・アメリカ文化の諸相について、様々な学問的アプローチをとおして理解を深める。
学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
学共125	サービス経営入門	経営	2	(2-0)	2	前又は後	サービス経営に関する基礎的な知識を、理論とケースから学ぶ。
学共126	会計ファイナンス入門	経営	2	(2-0)	2	後	前半は企業が公表する会計数値の持つ意味を、後半は企業の資金調達の方法等の基礎を学ぶ。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）

科目番号	授業科目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共201	沖縄観光政策入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	観光立県・沖縄の観光基本計画、誘客事業、受け入れ体制整備事業など幅広い分野にまたがる観光振興施策について学ぶ。
学共202	沖縄観光ビジネス入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な企業が関わる沖縄の観光ビジネスの現状と課題について学ぶ。
学共203	沖縄観光と健康入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	健康資源と観光の融合を図るヘルスツーリズムの観点から沖縄の現状と課題について学ぶ。
学共204	沖縄観光資源マネジメント入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の多様な自然環境や独特な歴史・文化を観光資源として活用する際の持続可能なマネジメントのあり方を学ぶ。
学共205	地域経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共206	国際経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
学共207	経済史入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
学共208	社会政策入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
学共209	異文化理解	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な文化背景を持つ英文の講義や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
学共210	地誌学概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本及び外国の地誌について概観する。
学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共214	社会人類学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
学共215	考古学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
学共216	民俗学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
学共217	まちづくり地域興し論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に着け、地域資源を生かした提言ができるようにする。
学共218	マーケティング実践研究	経営	2	(2-0)	2	前又は後	マーケティングの事例研究をしながら、受講者に実践的に提案および試作品の制作を行う。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）

科目番号	授業科目	主担当プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共250	島嶼観光入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼の資源を持続的に活かした観光のあり方について、島嶼の概念や分類、島嶼経済の視点を含め多面的に学ぶ。
学共251	Introduction to Global Business	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	グローバルな視点から、企業が直面する国際課題と今後の展望について考察する。
学共252	沖縄産業入門	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄を基軸とする産業の特徴と問題点を把握し、産業振興に向けた課題について考察する。
学共253	島嶼社会経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共254	沖縄経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
学共255	EU研究	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	EU（欧州連合）の始まりと現状、その深化がもたらすヨーロッパ諸国の変化とグローバルな活動などについて概観する。
学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
学共257	地域文化資源と博物館	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	地域の文化資源と博物館の基礎知識を概観する。
学共258	人の移動とグローバル社会	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	人の移動とグローバル社会について事例を取り上げて概観する。

プログラム専門科目（昼間主コース）  
 経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営201	組織行動論	2	(2-0)	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営202	経営組織論	2	(2-0)	2	前又は後	経営組織のマネジメントと組織を通じたキャリア形成に関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるような事例分析を行う。
経営203	観光情報論	2	(2-0)	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
経営204	観光マネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	観光地、観光客、観光事業に関する系統的なマネジメントの基礎を学ぶ。
経営205	会計学	2	(2-0)	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
経営301	経営戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	(2-0)	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	(2-0)	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
経営304	広告論	2	(2-0)	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説する。受講生の提案練習も行う。
経営305	観光マーケティング論	2	(2-0)	3	前又は後	観光事業におけるマーケティング活動で活用可能な概念、理論、手法を学ぶ。
経営306	税法基礎	2	(2-0)	3	前又は後	税法の基礎的な理解を固めた後に、所得税法と相続税法について講義を行う。講義においては最高裁判決も用いる。
経営307	管理会計基礎論	2	(2-0)	3	前又は後	事業体(主に企業)における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。

プログラム専門科目（昼間主コース）  
 経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営211	人的資源管理論	2	(2-0)	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営212	観光事業論	2	(2-0)	2	前又は後	観光事業における収益管理の初歩を学ぶ。
経営221	サービスマネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	顧客サービスに留まらず、内部組織に働きかける「インターナルマーケティング」にも注目し、サービスをどのようにマネジメントするか、また、どのように収益を生み出し、ひいては企業業績に結びつけるかについて学ぶ。
経営222	ホテル経営論	2	(2-0)	2	前又は後	国内・外ホテルの経営戦略及び実践手法について講義する。
経営223	サービス産業基礎概論	2	(2-0)	2	前又は後	サービス産業に関わる基礎的な知識と仕組みについて学ぶ。
経営224	交通サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	交通サービスに関わる基礎的な知識と仕組みについて学ぶ。
経営225	物流サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
経営226	Tourism Development	2	(2-0)	2	前又は後	島嶼地域であるハワイの観光産業の現状と課題を通して、持続可能な観光開発のあり方について学ぶ。
経営311	競争戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	(2-0)	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する。
経営313	応用簿記論	4	(4-0)	3	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。
経営314	財務会計	2	(2-0)	3	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
経営315	税法応用	2	(2-0)	3	前又は後	法人税法と消費税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。
経営316	簿記論演習	2	(2-0)	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級簿記の講義を行う。
経営317	財務会計論演習	2	(2-0)	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級財務会計の講義を行う。
経営318	管理会計応用論	2	(2-0)	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
経営319	数字で学ぶビジネス	2	(2-0)	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。
経営400	卒業研究	2	(0-2)	4	後	大学生生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営351	インターンシップ	2	(2-0)	2～3	前又は後	『働くということとは何か』について、自分なりに考え、その意義、意味をつかむことを目標とする。
経営352	キャリア開発演習	2	(0-2)	2	後	社会で求められる真の力とは何かを自ら探索し、その力を身につけるために何が必要かを認識し、具体的な行動計画を策定し、社会で求められる有能な人材を目指すことを目的とする。
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営201	組織行動論	2	2	前又は後		経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
経営202	経営組織論	2	2	前又は後		経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
経営203	観光情報論	2	2	前又は後		経営304	広告論	2	3	前又は後	
経営204	観光マネジメント論	2	2	前又は後		経営305	観光マーケティング論	2	3	前又は後	
経営205	会計学	2	2	前又は後		経営306	税法基礎	2	3	前又は後	
経営301	経営戦略論	2	3	前又は後		経営307	管理会計基礎論	2	3	前又は後	

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後	
経営212	観光事業論	2	2	前又は後		経営313	応用簿記論	4	3	前又は後	
経営221	サービスマネジメント論	2	2	前又は後		経営314	財務会計	2	3	前又は後	
経営222	ホテル経営論	2	2	前又は後		経営315	税法応用	2	3	前又は後	
経営223	サービス産業基礎概論	2	2	前又は後		経営316	簿記論演習	2	3	前又は後	
経営224	交通サービス論	2	2	前又は後		経営317	財務会計論演習	2	3	前又は後	
経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		経営318	管理会計応用論	2	3	前又は後	
経営226	Tourism Development	2	2	前又は後		経営319	数字で学ぶビジネス	2	3	前又は後	
経営311	競争戦略論	2	3	前又は後		経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目

注1：卒業研究は必修

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営351	インターンシップ	2	2～3	前又は後	
経営352	キャリア開発演習	2	2	後	必修科目
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：キャリア開発演習及び地域国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム、他学部提供の科目も含まれる。

卒業要件 経営プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色科目・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語（英語）	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計			30		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	10	4	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	2	30	
		地域・国際実践力科目	10	2	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		22	68	4
専門教育科目総計			94		
総単位数			124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語（英語）	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1）共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
  - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
    - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
      - ・専門基盤力科目のうち、経営プログラム提供の経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)、簿記入門(4単位)の3科目及び、2つ以上の他のプログラム提供の科目を、それぞれ1科目以上履修する。
    - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
      - ・プログラム系科目を6単位以上を履修する。
      - ・プログラム複合科目（選択必修）を4単位以上を履修する。
  - プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
    - 経営プログラム専門科目は、卒業研究(2単位・必修)を含む32単位以上を履修する。
    - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
      - ・キャリア開発演習(2単位・必修)は、2年次の後学期に必ず履修すること。
    - 他プログラム・他学部提供の専門科目は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
    - 学部共通基盤専門科目（24単位）及びプログラム専門科目（32単位）を超過した分は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
  - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
  - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
  - GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
  - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2）昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳと卒業研究は40単位制限に含まない。



学部共通基盤専門科目（夜間主コース）

専門基盤力科目

科目番号	授業科目	提供先プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
B学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
B学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
B学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1	前	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
B学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
B学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	1	後	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
B学共118	実用英語演習Ⅰ	国言	2	(2-0)	1	後	社会におけるさまざまな場面において英語で情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
B学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共214	社会人類学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
B学共215	考古学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
B学共216	民俗学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
B学共220	経済地理学	地域	2	(2-0)	2	前又は後	立地論などをテーマとした地理学について学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）  
経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営103	簿記入門	4	(4-0)	2	前又は後	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
B経営201	組織行動論	2	(2-0)	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営202	経営組織論	2	(2-0)	2	前又は後	経営組織のマネジメントと組織を通じたキャリア形成に関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるような事例分析を行う。
B経営203	観光情報論	2	(2-0)	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
B経営204	観光マネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	観光地、観光客、観光事業に関する系統的なマネジメントの基礎を学ぶ。
B経営205	会計学	2	(2-0)	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
B経営301	経営戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	(2-0)	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	(2-0)	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
B経営304	広告論	2	(2-0)	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説します。受講生の提案練習も行う。
B経営305	観光マーケティング論	2	(2-0)	3	前又は後	観光事業におけるマーケティング活動で活用可能な概念、理論、手法を学ぶ。
B経営306	税法基礎	2	(2-0)	3	前又は後	税法の基礎的な理解を固めた後に、所得税法と相続税法について講義を行う。講義においては最高裁判決も用いる。
B経営307	管理会計基礎論	2	(2-0)	3	前又は後	事業体（主に企業）における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経営211	人的資源管理論	2	(2-0)	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営212	観光事業論	2	(2-0)	2	前又は後	観光事業における収益管理の初歩を学ぶ。
B経営217	まちづくり地域興し論	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に付け、地域資源を生かした提言ができるようにする。
B経営218	マーケティング実践研究	2	(2-0)	2	前又は後	マーケティングの事例研究をしながら、受講者に実践的に提案および試作品の制作を行う。
B経営221	サービスマネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	顧客サービスに留まらず、内部組織に働きかける「インターナルマーケティング」にも注目し、サービスをどのようにマネジメントするか、また、どのように収益を生み出し、ひいては企業業績に結びつけるかについて学ぶ。
B経営225	物流サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
B経営311	競争戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	(2-0)	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する予定です。
B経営314	財務会計	2	(2-0)	3	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
B経営318	管理会計応用論	2	(2-0)	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
B経営351	インターンシップ	2	(2-0)	2~3	前又は後	『働くということは何か』について、自分なりに考え、その意義、意味をつかむことを目標とする。
B経営352	キャリア開発演習	2	(0-2)	2	後	社会で求められる真の力とは何かを自ら探索し、その力を身につけるために何が必要かを認識し、具体的な行動計画を策定し、社会で求められる有能な人材を目指すことを目的とする。
B経営400	卒業研究	2	(0-2)	4	後	大学生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営103	簿記入門	4	2	前又は後	必修科目	B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
B経営201	組織行動論	2	2	前又は後		B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
B経営202	経営組織論	2	2	前又は後		B経営304	広告論	2	3	前又は後	
B経営203	観光情報論	2	2	前又は後		B経営305	観光マーケティング論	2	3	前又は後	
B経営204	観光マネジメント論	2	2	前又は後		B経営306	税法基礎	2	3	前又は後	
B経営205	会計学	2	2	前又は後		B経営307	管理会計基礎論	2	3	前又は後	
B経営301	経営戦略論	2	3	前又は後							

注1：簿記入門は必修

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後	
B経営212	観光事業論	2	2	前又は後		B経営314	財務会計	2	3	前又は後	
B経営217	まちづくり地域興し論	2	2	前又は後		B経営318	管理会計応用論	2	3	前又は後	
B経営218	マーケティング実践研究	2	2	前又は後		B経営351	インターンシップ	2	2~3	前又は後	
B経営221	サービスマネジメント論	2	2	前又は後		B経営352	キャリア開発演習	2	2	後	必修科目
B経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		B経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目
B経営311	競争戦略論	2	3	前又は後							

注1：キャリア開発演習は必修

注2：卒業研究は必修

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修

注2：地域国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム、他学部提供の科目も含まれる

卒業要件 経営プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	14
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合		
		琉大特色科目・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語	8	
		第2外国語	4	
小計		26	14	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	6	2
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目（基礎科目）	4	30
		経営プログラム専門科目（応用科目）	4	
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			30
	小計		22	62
専門教育科目総計		84		
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
	健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目	14単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は84単位以上とする。
  - 学部共通基盤専門科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む8単位以上を履修する。  
専門基盤力科目のうち、経営プログラム提供の経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)は必ず履修すること。
  - プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。
    - 経営プログラム専門科目は、卒業研究(応用科目・2単位・必修)を含む38単位以上を履修する。
    - 経営プログラム専門科目の簿記入門(基礎科目・4単位)と、キャリア開発演習(応用科目・2単位)は、必ず履修すること。
    - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を必ず履修する。
    - 他プログラム・他学部提供の専門科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
    - 学部共通基盤専門科目(8単位)及びプログラム専門科目(38単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
  - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
  - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
  - GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上限を6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
  - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳと卒業研究は40単位制限に含まない。